

各会計補正予算など 20議案を可決

定例会 12月

12月定例会（第9回本宮市議会定例会）は、条例の制定や各会計補正予算など19議案と議員から発議1件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情2件が提出され、審議の結果、不採択と決定しました。

一般会計補正予算（第11号）

令和2年度

6億5,378万円を増額

《主な内訳（第11号）》

歳出

防災備蓄倉庫設置工事費	1億265万円
本宮第1保育所造成工事費	8,800万円
市民のためのランニングコース整備費	7,285万円
旧本宮第1保育所解体工事費等	3,759万円

歳入

教育施設等整備事業基金繰入金	1億4,203万円
財政調整基金繰入金	1億3,535万円
防災体制整備事業債	1億900万円
減債基金繰入金	7,500万円

今議会に提出された令和2年度一般会計補正予算（第11号）の主なものは、歳出では、市民のためのランニングコース整備費、防災備蓄倉庫の整備や、排水ポンプ車の配備費、本宮第1保育所の敷地造成及び旧本宮第1保育所の解体に係る各工事費の増額などが計上されました。

また、歳入では地方譲与税、震災復興特別交付税の増額、繰上償還や不足する財源に対する各種基金からの繰入金などが計上されています。

問 ランニングコース内の中央部分は芝生とのことだが、どのような利用目的で芝生としているのか。今後多くの方々に利用してもらうためにはもっと整備が必要なのでは。

答 中央の部分は多くの子どもたちや高齢者の方々に自由にのびのびと利用してもらうために芝生にした。

小さい子どもたちはコロナ禍で広い場所で遊ぶことがなかなかできていない。健康増進の目的などでも利用していただきたい。

本宮運動公園内にランニングコースを整備

一般会計補正予算（第11号）

ランニングコース内の芝生部分の利用目的は

議案質疑

市長へ新年度予算編成要望書を提出



本市では、『笑顔』あふれる『人』と『地域』が輝くまちもとみや」を将来像に掲げ、地域の主体性と歴史を尊重しつつ住民相互の融和に努めながら、地域の特性を活用した発展するまちづくりを進めています。

令和元年東日本台風災害、さらには、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民を取り巻く環境は大きく変化し、市政に与える影響が懸念されるのであります。

そのような中、感染症対策と地域経済対策を両立し、より効率的・効果的な財政運営を実行することは、市民の信頼と理解を得る上で大変重要であることから、市議会として12月2日に市長へ令和3年度予算編成に対する要望書を提出しました。要望事項の一部を紹介します。

総務文教常任委員会

- ・移住・定住の促進を図るため、情報発信、支援活動を行うこと。
- ・市外県外から地域と多様に関わる人材の継続的なつながりの構築を図ること。
- ・潜在的な待機児童の実態把握に努め、解消策を検討すること。
- ・学校、地域における英語教育を推進するとともに、英国との交流を活かしながらグローバルな人材育成を図ること。

生活福祉常任委員会

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する情報提供と注意喚起に取り組み、感染拡大防止に努めること。
- ・火災や水害など様々な自然災害に備え、自主防災組織の設立の促進と既存組織の活性化を図ること。
- ・本宮市地域公共交通活性化協議会の活発かつ効果的な議論を展開するとともに、地域公共交通計画の策定を行い、利用者の利便性向上と利用促進に繋がる具体策を構築すること。
- ・中間貯蔵施設へ輸送が完了した仮置場から、順次、原形復旧を行い、仮置場用地の返還を進めること。

産業建設常任委員会

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対して、事業継続のための支援を行うこと。
- ・集中豪雨等による浸水被害を未然に防止するため、雨水処理施設の整備や排水ポンプ場の増強を進めること。
- ・社会資本整備総合交付金事業を活用した本宮駅周辺東西アクセス整備の早期完成に努めること。
- ・五百川駅周辺の整備事業の促進を図ること。
- ・本宮インターチェンジ周辺の早期開発に向けた基本構想を策定すること。

総務文教常任委員会



▲委員会での審査の様子

総務文教常任委員会には、令和2年度本宮市一般会計補正予算（第11号）のほか、議案3件、陳情2件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算 (第11号)

説明 特別定額給付金給付事業について、実績額に応じ、事業費を補正する。

問 特別定額給付金の給付率が100%に満たなかった要因は。

答 辞退者と未申請者がいたため、100%に満たなかった。未申請者に対しては、勸奨通知を発送し周知を図った。

説明 普通財産管理事務について測量業務委託料を補正する。

問 旧社会福祉協議会跡地の今後の利用については。

答 利用方法については未定であり、駐車場としての利用も含めて検討中である。

陳情審査

陳情第7号「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の提出を求める陳情書及び陳情第8号「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情書」については、委員会での討論・採決の結果、賛成少数により不採択とすべきと決定した。

生活福祉常任委員会



▲委員会での審査の様子

生活福祉常任委員会には、令和2年度本宮市一般会計補正予算（第11号）のほか、議案7件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算 (第11号)

説明 多世代間の交流促進と高齢者の心身機能の維持向上を目的として、備品購入費を補正する。

問 多世代交流促進に向けた取り組みとは。

答 子どもから高齢者まで楽しめるニユースポーツの囲碁ボール用品を購入し、多世代交流施設に設置し、多世代間の交流を図りたい。

説明 乳幼児医療費及び小学生医療費を補正減する。

問 医療費の支出が減った理由は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関での感染を懸念した、受診の差し控えの影響による。

説明 防災備蓄倉庫を市内に設置する工事費を補正する。

問 防災備蓄倉庫のメリットは。

答 各所に設置されることにより、災害時の初期段階における早急な避難所対応が可能になること、また、感染症対策の備品が増加しており、現在使用している青田地区倉庫だけでは手狭になっているため、国の支援を活用して設置し、災害対応に万全を期すため。

産業建設常任委員会



▲委員会での審査の様子

産業建設常任委員会には、本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例の一部を改正する条例制定についてのほか、6件の議案が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例の一部改正

説明 歳計余剰金の処分に係る条項を追加するため、改正を行う。

問 改正によるメリツトは。

答 事業完了に伴い執行残金が発生した場合、決算時に予算に編入することなく、基金に編入することが可能となるため、予算編成や決算報告が簡素でわかりやすいものとなる。

一般会計補正予算(第11号)

説明 局所的豪雨などによる冠水箇所の排水作業のため、排水ポンプ車1台の購入費を補正する。

問 排水ポンプ車の能力及び運用方法は。

答 口径200mmのポンプ2台により、毎分10m³の雨水を排水でき、また、非常時における配置やポンプ車の運転操作は業務委託による運用を検討している。

意見書提出

今般、高収益作物次期作支援交付金の運用見直しがなされ、当初に申請していた生産農家に交付できない事態が発生しているため、国に対して運用見直しの意見書を提出すべきとの意見がありました。

意見書の詳しい内容は6ページをご覧ください。

議員定数等に関する特別委員会

議員のなり手不足問題や議会組織の検討、議員定数等のあり方などについて調査・研究するため、9月定例会で議決設置された特別委員会は3回の調査を行いました。主な調査の内容は次のとおりです

10月21日(第2回)「近隣市議会の議員定数状況について」

県内、近隣県の類似議会の議員定数、立候補者数、人口から見る議員一人当たりの人数や特別委員会の設置状況について調査。

全般に定数削減の傾向にあります。類似議会の定数の平均は17・5人(本市は20人)となっています。

委員からの意見は、削減ありきではなく、慎重な審議が必要である。

令和3年6月定例会を目標に特別委員会としての結論を出したい。

11月20日(第3回)「近隣市議会の常任委員会構成状況について」

県内、類似議会の常任委員会の状況について調査。2ないし3(本市は3)で、全議員が2つの常任委員会に所属している議会もあります。

委員からの意見は、○常任委員会の委員は、最低6、7人必要である。

○定数問題だけでなく如何に議会に関心を持っていただけるか議論すべきである。

12月11日(第4回)「議員定数削減した場合のメリツト、デメリットについて」及び「議会組織のあり方について」

委員からの意見は、○削減すると無投票になる可能性が低くなり、市民の代表としての認識や競争意識が高まってくる。

○削減すると地域代表、団体代表が狭められることになり、市民の意見が反映されにくくなる。

○若い世代や女性が議員になれる環境づくりが必要である。

○議会として出した結論は、市民に大きな影響を議会として決定することは大変重要な意味があり、慎重に審議するべきである。

本特別委員会では、今後も様々な角度から調査を行ってまいります。

「高収益作物次期作支援交付金の 運用見直しを求める意見書」を提出

定例会最終日に、発議第10号が可決されたことを受け、国に対して意見書を提出しました。内容は以下のとおりです。

新型コロナウイルス感染症については、国により対策を講じておりますが、停滞した経済状況は農業分野にも影響が及んでおります。

このような中、国は、4月30日に新型コロナウイルス感染症拡大による経済対策として「高収益作物次期作支援交付金」の運用を始めました。この交付金は、令和2年2月から4月において野菜、花き、果樹など出荷実績があること、または、農作物の市場価格等の下落により出荷出来なかった生産農家に対して、5月以降の作付け、いわゆる次期作について支援を行うこととしました。

この支援については、生産性・流通コストの削減に資する取組、生産性又は品質向上に要する資材等の導入に資する取組等を行った場合、次期作の取組み面積に対して、定額の補助金を交付する内容でありました。

これを受けまして、本市においては、ふくしま未来農業協同組合と連携を図りながら、生産農家への通知や相談、そして、申請の取りまとめを行ってきたところであります。

しかしながら、今般、当交付金の運用見直しがなされ、当初に申請していた生産農家に交付ができない事態が発生しております。

見直しの内容は、見直し前の交付予定額を上限に、減収額又は減収額に加えて、すでに投資した額を交付額とするなど制度内容が大きく変更され、コロナ禍において販売努力により売り上げをなんとか維持してきた生産農家は、交付されない状況となり戸惑いの声が上がっております。

本来、この交付金は減収の補填ではなく、コロナ収束後における農業生産体制の維持・強化が目的であることから、今回の制度の趣旨を覆せば、生産農家の前向きな営農意欲が崩れかねません。

よって、本市議会は、市内生産農家の農業経営の継続や営農意欲向上の観点から、生産農家の支援に関する、次の事項について強く要望します。

1. 高収益作物次期作支援交付金の制度設計当初の運用と十分な予算確保をすること
2. 当初の要件を満たす申請者全てに交付できるよう予算措置をすること

提出先 内閣総理大臣 農林水産大臣

本会議での討論

12月11日の本会議で、議案第119号、陳情第7号の不採択、陳情第8号の不採択について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第119号
令和2年度本宮市一般会計補正予算（第11号）

本宮運動公園内のランニングコース整備費などが計上されています。
※詳しくは本紙2ページをご覧ください。

反対討論

渡辺忠夫議員

本市全体のスポーツ施設は大きな大会を開催できる場所がないということが懸念され、問題となっており、別の施設を願っていた。
グランドゴルフ協会は、20年を超える月日が経っているなかで、何度か本市で県北大会の開催を要請していたが、かなわなかった。
本市は利便性があるといっても、県北大会など大きな大会ができる施設がないということも今期待があった。
中途半端なものだと言われないように実施し、公園の全体的な構想を明確にしながらか進めるべきである。

賛成討論

齋藤雅彦議員

ランニングコース等整備事業については、生涯スポーツの推進をはじめ、近年、健康寿命に対する市民の意識が高まる中で、本市のスポーツ施設の中心を担う本宮運動公園内に、市民の利用しやすい、ニーズに合った全天候型ランニングコースを整備するとしている。
本施設は、子どもから高齢者まで多世代にわたり、「誰もがいつでも誰とでも」利用でき、気軽にスポーツを楽しむみたい方などに利用していただく施設として、市民の体力向上やスポーツ振興を図るため、事業を進めるべきである。

陳情第7号

「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の提出を求める陳情書
20人程度学級の設置を求める陳情書です。付託された総務文教常任委員会では不採択とされましたが、その決定について反対がありました。

不採択

反対討論

渡辺忠夫議員

20人以下で授業を受けた子どもたちからは、「いつもより勉強が分かった」「授業中手を挙げやすかった」などの声が聞かれ、教職員からは「ゆとりをもって一人一人丁寧に関わることができた」などの声があった。また、保護者からは「感染から子どもを守るためには20人くらいが良い」という肯定的な意見があった。

今多くの人たちが願っており、現在228議会が国へ要望している。
臨時国会では、共産党の質問に文部科学大臣は、私たちも少人数学級を考えていると発言をした。このように国が進める動きもあるため本陳情は採択とするべきである。

不採択

賛成討論

齋藤雅彦議員

地方ですすでに少子化の影響で、1クラスの子どもの数が減少している。また、20人程度学級にするためには、教室及び教職員の確保等の課題に加え、子ども達の競争心や社会性を養う機会が減少するなどの影響も考えられる。
今後さらに少子化が進む中で、20人程度学級にすることは、地方や本市の実情に合うものではないと考え、本陳情を不採択することに賛成する。

陳情第8号

日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情書

核兵器禁止条約の批准を求める陳情書です。付託された総務文教常任委員会では不採択とされましたが、その決定について反対がありました。

不採択

反対討論

渡辺忠夫議員

10月24日国連において核兵器禁止条約が50か国の批准によって発効されることが決定した。この条約は、核兵器は非人道的な兵器であるとし、歴史上はじめて明文上も違法なものとされた。
しかし、日本政府はこの条約を批准していない。日本は世界で唯一の被爆国として核兵器全面禁止のため真剣に努力をしなくてはならない。

本市は平成23年に非核・平和の自治体宣言を求める決議を議員発議で可決した。そのため本陳情は採択とするべきである。

不採択

賛成討論

齋藤雅彦議員

日本は唯一の戦争被爆国であり、核兵器廃絶という目標に対して理解するところであるが、本条約は核兵器保有国のみならず、日本と同様の非核兵器保有国からも安全保障の観点から支持を得ていない。

日本政府が考える核兵器保有国と核兵器禁止条約支持国を含む国際社会における橋渡し役を果たし、これまでの現実的かつ実践的な取り組みを継続していくことが必要であると考え、本陳情を不採択することに賛成する。

議決結果一覽表

議案番号	議案名	議決結果
議案第108号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第109号	本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第110号	本宮市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第111号	本宮市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第112号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第113号	本宮市宮住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第114号	中央公民館・サンライズもとみや災害復旧工事（電気設備工事）請負契約の一部を変更する契約について	原案可決確定
議案第115号	中央公民館・サンライズもとみや災害復旧工事（機械設備工事）請負契約の一部を変更する契約について	原案可決確定
議案第116号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第117号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第118号	福島県市民交通災害共済組合理約の変更について	原案可決確定
議案第119号	令和2年度本宮市一般会計補正予算（第11号）	原案可決確定
議案第120号	令和2年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第121号	令和2年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第122号	令和2年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第123号	令和2年度本宮市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第124号	令和2年度本宮市公共下水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第125号	和解の受諾について	原案可決確定
議案第126号	令和2年度本宮市一般会計補正予算（第12号）	原案可決確定
発議第10号	高収益作物次期作支援交付金の運用見直しを求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

陳情一覽表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名	提出者の氏名	審議結果
陳情第7号	令和2年11月17日	総務文教	「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 安達支部 支部長 高橋 尚人	不採択
陳情第8号	令和2年11月18日	総務文教	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情書	福島県原爆被害者協議会 会長 木幡 吉輝	不採択

12月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は上記のとおり全会一致で可決されています。

議員名 議案番号	みらい創和会				新風会				志誠会			共	無所属							
	円谷長作	石橋今朝夫	磯松俊彦	渡辺由紀雄	三瓶裕司	川名順子	斎藤雅彦	根本利信	橋本善壽	菊田広嗣	遠藤初実	渡辺忠夫	馬場亨守	三瓶幹夫	菅野健治	渡辺秀雄	渡辺善元	伊藤隆一	作田博	国分勝広
議案第119号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第7号 不採択	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第8号 不採択	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	●

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

一般質問

市政を問う

今定例会では新型コロナウイルス感染症対策と
ナウイルス感染症対策として、一般質問において
会派所属議員は各会派から一名のみの質問とし、
質問者は自席で質問を行いました。

12月定例会の一般質問は、7名の議員が登壇し、2日間にわたって行われました。
1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

10ページ：

- 馬場亨守 議員（無所属）
 - ・市道における橋の安全管理は
 - ・市の補助金交付の見直しについて
 - 磯松俊彦 議員（みらい創和会）
 - ・スクールゾーンの設定は
 - ・白沢地区へのアクセス道路改良は
- 11ページ：
- 遠藤初実 議員（志誠会）
 - ・災害等の緊急映像配信について
 - ・同時中継システム導入の計画は
 - 川名順子 議員（新風会）
 - ・ケアラー（介護者）の支援は
 - ・視覚障がい者に優しい街づくりを

12ページ：

- 渡辺秀雄 議員（無所属）
 - ・五百川駅前広場整備計画の進捗は
 - ・太陽光発電施設設置の要綱は十分か
- 菅野健治 議員（無所属）
 - ・児童・生徒の不登校の現状は
 - ・食べて得得キャンペーンの取組は

13ページ：

- 渡辺忠夫 議員（日本共産党）
 - ・医療機関や高齢者施設などの検査を
 - ・学校給食費の助成をすべきでは



問 市道における橋の安全管理は

答 橋梁の点検を実施している

馬場 亨守
議員
(無所属)

問 築50年以上経過した橋の安全管理と点検について、2014年7月から5年周期での点検が義務化されたが、どのような結果が出ているか。

答 福島県市町村橋梁点検マニュアルに従い、点検項目19項目については全て点検している。また、結果についても市のホームページで公表している。

問 築50年以上の橋は11橋で、定期点検結果(損傷程度)をもとに算出する健全度ランクは健全度1(支障なし)の報告を受けている。

答 シルバー人材センター、商工会、社会福祉協議会の3団体ある。運営費総額は5,876万円となっている。市の委託事業者として一体となって活動している。見直しについても、事業効果・目的について精査していく。

問 市の補助金交付の見直しについて

答 3団体で職員OBが勤務している

問 当初予算180億円の1割が補助金であるが、補助金細部にわたっての見直しは。

答 市職員OBが所属する団体はいくつあるか。また、補助金の総額はいくらか。長期間補助している事業へは、今後も補助金が必要か。



▲白沢地区へのアクセス道路の改良を



問 スクールゾーンの設定は

答 過去の経緯を含め調査研究したい

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 市内小学校の出入口と歩道との接続の状況は。

答 市内小学校7校中2校は歩道に面していない。

問 スクールゾーンの設定推進についての文部科学省通知は届いているか、設定の利点についての当局の認識は。

答 通知は届いており、設定を推進し学校周辺の交通安全対策につなげることにしており、通学路の安全確保を図るために大変意味があるものと考えている。

問 市内小学校の出入口と歩道との接続の状況は。

答 仁井田・白岩線は舗装路面に溝を入れる工事を実施、高木・和田線は融雪剤を散布。また、高木・和田線整備の必要性は認識しているが、全体の状況を勘案し維持管理していく。道路利用者と移住希望者に魅力的な道路ネットワーク構築を目指す。

問 市道仁井田・白岩線の冬期凍結区間の対応は。市道高木・和田線の冬期凍結と見通しの悪いカーブの問題に必要な抜本的対策への考え方は。

答 白沢地区へのアクセスの悪条件緩和を市の都市計画マスタープラン等にて構想し計画的に整備する意図は。



▲橋の安全管理徹底を

問 介護保険制度は家族介護から介護の社会化へと作られた制度である。老々介護を行う世帯は全体の5割。年々上昇傾向にある中、家族介護に疲れた悲しい事件が増えている。無理なく介護を行えるケアラー支援の制度・仕組みの構築が必要では。

答 介護認定者は1,380人いる。認知症の家族で組織する「なごみ会」、市の主催で介護者の集いを開催し、参加者同士で交流し、情報交換をしている。現在策定中の高齢者福祉計画において家族介護者の支援を課題の一つとして整理している。

問 全盲の人であれば点字ブロックを足の裏や白杖で確認しながら歩く。弱視の人は路面のコントラストが強いことが求められている。市役所正面玄関に音による誘導案内を設置し、屋内の床も一人で歩けるユニバーサルデザインにしては。

答 踏んだ際の違いで誘導するユニバーサルデザインフロアーが開発されている。音声案内については、センサーにより歩行を感じし、指向性が高く聞き取りやすい機器があり、公共施設への音声案内設置の事例も増えている。

その他の質問

- ・地域包括支援センターの適切な人員配置、委託料の見直し、分かりやすい名称の設定を



▲視覚障がい者に優しい施設を



問 ケアラー（介護者）の支援は地域社会の問題として捉える

川名 順子
議員
(新風会)

問 視覚障がい者に優しい街づくりを調査・研究し進めていく

問 全盲の人であれば点字ブロックを足の裏や白杖で確認しながら歩く。弱視の人は路面のコントラストが強いことが求められている。市役所正面玄関に音による誘導案内を設置し、屋内の床も一人で歩けるユニバーサルデザインにしては。

答 踏んだ際の違いで誘導するユニバーサルデザインフロアーが開発されている。音声案内については、センサーにより歩行を感じし、指向性が高く聞き取りやすい機器があり、公共施設への音声案内設置の事例も増えている。



▲映像配信システムの導入を

問 災害から市民を守るために迅速に情報を集め、的確な判断の下に、市民へ伝達することが必要である。従来の無線や電話では限界があり、映像導入の必要性が全国的に広まっている。ドローンやカメラ等に関して、現在の利用状況は。

答 ドローンは1台の名。保有で資格者は8名。被災状況の把握や復旧状況、災害廃棄物仮置場の進捗状況等確認、建物の高所の劣化状況の確認のほか、イベントや風景を撮影し市のPRにも活用している。固定タイプカメラも多数設置している。

問 雨や風でドローンが使用できない場合、現場のスマホの映像中継を共有できる最新のシステムが広がっている。消防署の情報や映像中継の連携などを将来的に計画実行する予定は。

答 市所有のドローンだけでは内容的に対応できない点もある。9月にウェブ会議システムと携帯可能なインターネット接続機器を導入した。今回提案のあったシステム等を調査しながら導入を進めていきたい。



問 災害等の緊急映像配信について防災や防犯にカメラを利用

遠藤 初実
議員
(志誠会)

問 同時中継システム導入の計画は情報や映像中継の連携を進める

答 市所有のドローンだけでは内容的に対応できない点もある。9月にウェブ会議システムと携帯可能なインターネット接続機器を導入した。今回提案のあったシステム等を調査しながら導入を進めていきたい。



問 五百川駅前広場整備計画の進捗は

答 まずは代替案も含め了承を得たい

渡辺 秀雄
議員
(無所属)

問 朝夕の送迎車両による混雑の解消と安全性の確保を図るうえで、利用者、地域の住民は一日も早く駅前広場の整備を望んでいる。本宮駅周辺の整備が1年遅れるというが完了後、引き続き整備に着手できるよ

答 土地所有者の方から理解を得られていない状況で大きな遅れが生じているが、駅周辺の混雑解消と安全確保のため、至急整備が必要と理解している。まずは検討委員会に今の状況を説明して代替案も含め了承を得ていきたい。

問 太陽光発電施設の要綱は十分に維持管理に関して、市では「維持管理及び撤去処分に関する要綱」を定めているが、20年以上設置されている施設、毎年業者からの報告や施設の撤去確認等に関しては、要綱ではなく条例でしっかりと定めるべきでは。

答 現時点では最適と考えており、しっかりと運用していくことに努めたい。廃棄費用の外に部積立て等についての法律改正等もあり今後必要な修正が生じた場合には、随時見直しを図り、市民の方々が不利益にならないよう対応する。

その他の質問

・市営住宅使用料の収納について



▲早期整備が期待される五百川駅前広場



▲食べて飲食店を応援しよう

問 新型コロナウイルスの影響で、自宅ゲームをする時間が増え、生活習慣が乱れて、不登校になる児童生徒が増えているという報道があった。入学式を終えるとすぐの休校から、学校生活に戸惑い、不登校の児童生徒がいる話があるが実態は。

答 平成30年度末は2643人、令和元年度末は35人、学校再開後に登校渋りをする児童生徒が見られた。逆に不登校傾向にあった児童生徒が登校するという姿も見られた。以上のことから長期休業による大きな影響はないと思われる。

問 児童・生徒の不登校の現状は

答 今年度7月現在は35人

菅野 健治
議員
(無所属)

問 食べて得得キャンペーンの取組は66の飲食店で取り組みを進める

答 実施期間は5月31日までだが、キャンペーンの反響が大きく、発行総額が増えた場合、予算の関係もあり、途中でキャンセルを打ち切る予定なのか、5月31日までは続けるのか、どのように考えているのか

答 当初のコンセプトは忘新年会から歓迎会まで市民の皆様方に発信しており、予算が足りなくなる事態を想定すれば議会に諮らせていただいていたが、セーフティネットとして十分活用できるよう議論を重ねたい。

その他の質問

・市民の感染症拡大防止対策の市の取り組みは
・水稻販売農家の経営を支援する給付金の導入は

令和2年11月25日 第8回臨時会

令和2年度 本宮市一般会計補正予算 (第10号)などを可決

11月25日に第8回臨時会が開かれ、市長から議案9件、議員から発議1件が上程されました。

議案は、新型コロナウイルスの感染拡大により、大きな影響を受けている市内飲食店の支援を行うため、新たに実施する「本宮市食べて得得キャンペーン事業」に係る補正予算の専決処分の承認についてや、福島県人事委員会勧告に基づく特別職、一般職及び特定任期付職員の期末手当を引き下

げるための条例の一部改正、人事委員会勧告による職員等の人件費などにかかる補正予算であり、審議の結果、賛成多数で全議案承認可決しました。

議員発議については、人事委員会勧告に基づき、議員の期末手当を引き下げたため、本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例を一部改正するもので、全会一致で可決しました。



問 医療機関や高齢者施設などの検査を
答 現在の感染予防対策を進める

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 新型コロナウイルス感染症は1日2,000人を超える勢いで感染している。本市は爆発的に発生をしている状況ではないが三密回避やマスクの着用、外出自粛などと住民の自粛だけでは、医療機関や高齢者施設などの検査実施が必要では

答 現在、感染者が多発発生した場合やクラスターが発生した場合は医療機関、高齢者施設などに勤務されている方々を対象にPCR検査を実施している。本市の感染状況は落ち着いているため、現在の感染予防対策を進めていきたい。

問 学校給食費の助成をすべきでは
答 給食費助成は国の責任で実施すべき

問 来年度の予算編成で学校給食費の助成について何う。

9月で39自治体、大玉村でも実施。本市も小学校11円、中学校10円を助成(値上げ分)と報じられている。このまま続けられれば実現だが、来年度は保護者負担になるのか。

答 今回の食材の値上げについては周知期間が大変短かったことでも、あくまでも給食費について、無償化・助成するのであれば国の責任で実施すべきものと考ええる。

経済困難の方には就学援助制度等で支援している。

その他の質問

- ・農家に対する持続化給付金は行き届いているか
- ・保育所待機児童ゼロ対策をすべきでないか



▲給食費を助成し保護者の負担を減らすべき

声



12月定例会を傍聴された方は10人でした。今回はその中から武藤盛雄さん（本宮字欠下）に傍聴の感想をお聞きしました。

議会傍聴感想

議会傍聴に行くべ。

突然友人から電話がありました。

今まで、議会だよりやFMモットコムでの議会放送でよく聞いていましたが、実際に傍聴するのは初めてでした。

意外にも住所氏名を記入しただけで簡単に入れました。

議長、「これより議事に入ります」の通った一言で場内が静粛になり、私も気が引き締まりました。

質問をする議員さんの表情は見えなくて残念でしたが、市側の答弁者の表情はよく見えました。

コロナ禍の中でマスク越しのせいか質問の一部聞き取りにくい部分がありました。議員さんが常日ごろから市民目線で活動している様子がうかがい取れました。

今後も本宮市・本宮市民の為に活躍していただきたいと思います。

一度傍聴しただけなのに議会が身近に感じたのは気のせいでしょうか。

武藤 盛雄さん



今号の表紙は、本宮第一中学校で始業式の様子を撮影しました。ご協力ありがとうございました。



次回**3月議会定例会**は
3月2日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
2月17日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435

あとがき

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス第3波が到来しております。市では「コロナ第3波襲来注意!!徹底予防で静かに過ごす」と呼びかけています。感染拡大防止のため新しい生活様式の呼びかけにより、地域や人と人の距離が離れ、人との繋がりが希薄になっているように思われます。私たちは、人と人との繋がりを持つことで、精神的な充足感・安心感などを得ることができ、新型コロナウイルスが一日も早く終息することを祈念しております。

令和3年、私たち議員は執行部の方々と議論を交わし、市民の皆様のために代弁者として頑張っております。

寒さが厳しくなりますので、ご自愛ください。(石橋)

発行責任者

議長 渡辺由紀雄
副議長 三瓶裕司

委員 三瓶 裕司
委員 斎藤 雅彦
委員 遠藤 初実
委員 菊田 広嗣
委員 石橋 今朝夫
委員 三瓶 幹夫
委員 渡辺 忠夫
委員 国分 勝広

発行

本宮市議会

編集

広報広聴委員会

〒

969

1192

福島県本宮市本宮字万世212

TEL (0243) 24-5435
FAX (0243) 34-5567

再生紙使用